

令和7年4月30日

関係各位

香川県立高松支援学校
校長 北村 宏美

令和7年度 肢体不自由教育研修会のご案内

本校では、肢体不自由教育に関する研修会を下記の通り実施します。肢体不自由のある幼児、児童、生徒、成人の方の成長に応じた課題について、同じ悩みを抱える方々とアプローチ方法や視点を共に学びたいと考えています。多くの方々の参加をお待ちしております。

記

1 日時及び内容

日時 形態	※実施	内容
7月14日（月） 16:00～16:50 ※オンライン研修		肢体不自由障害のある子どもを支援するための公開講演会 演題「一人ひとりを大切にする関係作り」 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 青山 新吾 氏
7月23日（水） 8:50～11:50 ※オンライン ・集合研修		本校教員による公開研修会 研修①「高松支援学校の教育について」 研修②「高松支援学校における進路指導の実際」 研修③「高松支援学校における自立活動の指導」 講師 本校教諭
7月23日（水） 13:30～15:10 ※オンライン ・集合研修		研修④ 「肢体不自由障害のある子どもを支援するための公開講演会」 演題「Drop tap の操作方法と活用の秘訣 ～アプリ活用演習を通して～」 講師 鈴木 章裕 氏
7月24日（木） 9:30～11:40 ※集合研修		研修・演習 「自立活動のワークショップ」 講師 本校教諭 対象：小学校・中学校教員のみ
7月24日（木） 13:30～15:10 ※集合研修		研修 「障害福祉サービス事業所との情報交換会」 対象：障害福祉サービス事業所のみ

研修の詳細は別紙をご覧ください。

- 2 配信方法 Google Meets によるオンライン配信（アカウントは必要ありません）
※7月23日はオンラインまたは集合研修、24日の研修は集合研修のみを予定しています。
- 3 対 象 保育所、幼稚園、子ども園、小学校、中学校、特別支援学校、福祉関係施設、医療機関において障害のある幼児、児童、生徒、成人の指導・支援にかかわっている方
- 4 申込方法 GoogleForm（右の QR コードよりお入りください）又は、郵送（別紙申込用紙）、メールにてお申し込みください。
締切 令和7年6月16日（月）
定員 50名（研修により異なる場合があります）
受講決定はメールにてお知らせします。
- 5 問い合わせ先 香川県立高松支援学校 研修担当 ：増田
〒761 - 8057 高松市田村町 1098 番地 1
TEL 087 - 865 - 4500
メールアドレス：taka-s02@kagawa-edu.jp
- 6 その他 当日県内に午前6時の時点で警報が発令された場合、オンライン研修含め研修会は中止とします。



令和7年度 香川県立高松支援学校肢体不自由教育研修会 日程

7月14日(月)		7月23日(水)		7月24日(木)	
肢体不自由障害をもつ子どもを支援するための公開講演会		高松支援学校 公開研修会		演習・ワークショップ・情報交換会	
15:30～	開場	8:30～	開場	9:00～	開場
16:00～ 16:45	〈公開講演会〉 演題 『一人ひとりを大切にする関係作り』 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 青山 新吾 先生	8:50～ 9:00	開会挨拶	9:30～ 11:30	〈研修・演習〉 「自立活動のワークショップ」 講師 本校職員 <u>※対象:小学校・中学校教員のみ</u>
		9:00～ 9:50	〈研修①〉 高松支援学校の教育について 講師 増田 純礼		
		10:00～ 10:50	〈研修②〉 高松支援学校の進路指導の実際 講師 田畑 誠悟	11:30～ 11:40	事務連絡・解散
16:45～ 16:50	閉会行事 事務連絡・解散	11:00～ 11:50	〈研修③〉 高松支援学校における自立活動について 講師 河西 宏尚	11:50～ 13:30	休憩
		11:50～ 13:30	休憩	13:30～ 15:00	〈研修〉 「障害福祉サービス事業所との 情報交換会」 <u>※対象:障害福祉サービス事業所のみ</u>
		13:30～ 15:00	〈研修④〉 〈公開講演会〉 演題 『Drop tapの操作方法と活用の秘訣 ～アプリ活用演習を通して～』 講師 鈴木 章裕 氏		
		15:00～ 15:10	事務連絡・解散	15:00～ 15:10	事務連絡・解散

令和7年度 肢体不自由教育研修会申込用紙＜校外用＞

希望する方に ○印をお付けください。	肢体不自由教育研修会 7/14(月) に参加する	
	肢体不自由教育研修会 7/23(水) に参加する	午前・午後・全日
	肢体不自由教育研修会 7/24(木) (ワークショップ)に参加する <u>※対象:小学校・中学校教員のみ</u>	
	肢体不自由教育研修会 7/24(木) (障害福祉サービス事業所との情報交換会)に参加する <u>※対象:障害福祉サービス事業所のみ</u>	
氏名		
所属		
メールアドレス	連絡が取りやすいPCメールをご記載ください。携帯メールは記載しないでください。 受講決定の連絡、オンライン配信のURL、研修会に関する資料などをメールに送付します。 個人メールアドレスも可能です。 ()	
勤務先	住 所 〒 TEL — —	
緊急連絡先	※緊急の場合の連絡先(携帯電話等)をお書きください。	
その他	◇本研修会で知りたいこと、相談したいこと、また今困っていることなどがありましたらご記入をお願いします。できる範囲で研修会に反映させていただきます。 ◇その他、希望事項がありましたらお書きください。	

＜個人情報取り扱いについて＞

提出いただいた個人情報は、本研修会運営のためだけに使用し、研修会終了後に廃棄いたします。

＜申し込み方法＞

参加申し込みは、QRコード、または郵送かメールでお願いします。

メールでの申し込みについては、鑑は必要ありません。申込用紙のみ送信してください。

メールの場合は、上記申込用紙の情報を載せて申し込みをしてください。

申込受付完了についてはメールでお知らせいたします。

その後も研修会に必要な情報をメールでお知らせいたします。

申込締め切りは6月16日(月)です。

＜申し込み先＞

メールアドレス <u>taka-s02@kagawa-edu.jp</u> TEL <u>087-865-4500</u> 郵送先 〒761-8057 <u>高松市田村町1098番地1</u> 香川県立高松支援学校 研修担当：増田 純礼 宛
--

「一人ひとりを大切にする関係作り」

人との関係作りの大切さといっても、いろいろなパターンがあります。教師と子ども、教師と保護者、子どもと子ども。それぞれ背景には困難な状況がありますが、どうして～できないの？の視点ではなく、どうしたら～できるかな？のまなざしを向けることではないでしょうか。講義では、関係作りのヒントとなる要素をエピソードを交えてお話しします。

ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 児童学科 准教授
インクルーシブ教育研究センター長

青山 新吾 先生

岡山県内公立小学校教員として、主に通級指導教室において言語障害、情緒障害、自閉症教育、学校教育相談等を中心に実践する。大学での研究分野はインクルーシブ教育、特別支援教育、インクルーシブな学校づくり、幼稚園、小・中・高等学校における特別支援教育、自閉スペクトラム障害臨床など。



【主な著書】

「自閉症の子どもへのコミュニケーション指導」(2005、明治図書出版)
「特別支援教育を創る子どもを見つめる確かなまなざしと暮らし支援」(2006、明治図書出版)
「エピソードで語る教師力の極意」(2013、明治図書出版)
「気になる子の将来につなげる人間関係づくり」(2014、学事出版)
「インクルーシブ教育を通常学級で実践するってどういうこと？」(2019、学事出版)
「エピソード語りで見えてくるインクルーシブ教育の視点」(2022、学事出版)
「家族の流儀」を大切にする支援：自閉スペクトラム症のある子どもの家族支援・再考
(2024、金子書房) 他多数

7月14日(月)

16:00～16:50

香川県立高松支援学校 肢体不自由研修会 公開講演会

開催形態

Google Meetsによるオンライン研修(無料)

申し込み方法

Google Form(右QRコード)

メールアドレス taka-s02@kagawa-edu.jp

郵送(別紙申込用紙)

お問い合わせ先

香川県立高松支援学校 担当：増田純礼(087-865-4500)



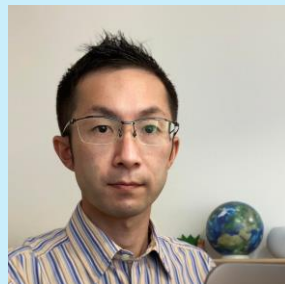
香川県立高松支援学校 肢体不自由教育研修会

特別企画 開発チームの一員に聞く！

DropTap の操作方法と活用の秘訣 ～アプリ活用演習を通して～

講師紹介

鈴木 章裕(すずきあきひろ)先生



あっきーの
教材工房
リンク

元特別支援学校の教員で、現在はiPadやiPhoneで使える特別支援教育アプリを開発している日本有数のプログラマー。

(代表アプリは えにっき、ひっさんノート、たっち&びーぷ、ばいすぶっく等 多数)

“DropTap(ドロップタップ)”は、ドロップレット・プロジェクトが開発した国内最強のコミュニケーション支援アプリです。2000種類以上のシンボルと音声を標準で備えるだけでなくシンボル検索機能やスイッチで操作できる機能など有料アプリを凌ぐ性能を持ちながらもGIGAスクール端末に無償提供され、全国の端末に現在100万本以上インストールされています。

今回は、その開発に関わられたプログラマー自ら、その操作方法や活用のコツを解説してくれるという特別企画です!! またとないこの機会に、開発者と一緒にアプリに触れてみませんか? アプリケーションの演習を通して、特別支援教育への熱い思いも感じられる時間となるはずです。たくさんの先生の参加をお待ちしています!

DropTap

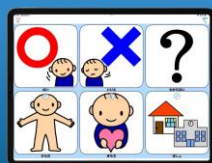


実際に触りながら
一緒に学びましょう

@ドロップレット・プロジェクト

コミュニケーション支援アプリの決定版!

DropTap



シンボルで伝える

コミュニケーションボード



2000語を超えるシンボル

Dropsを標準搭載



日時

令和7年7月23日(水) 13:30~15:00

対象者

肢体不自由教育に関心のある教育、医療、福祉の支援者等

参加費

無料

申込み

QRコードより必要事項を送信してください

会場

高松支援学校またはオンライン(選べます)

お問合せ

taka-s02@kagawa-edu.jp

担当 泉本尚資(いずもとなおすけ)



申し込みはこちらから

令和7年度 肢体不自由教育研修会

「自立活動のワークショップ」

ご案内

香川県立高松支援学校

肢体不自由のある子どもの
自立活動の指導について
一緒に考えてみませんか？

例えば・・・

- ・自立活動の時間に何に取り組めばいいのかわからない
- ・車いすを使っているけど、子どもの姿勢や身体の動きについて、どのように指導・支援すればよいか分からない
- ・個別の指導計画を作っているが、目標が適切かどうか不安 など。

このワークショップでは実際に担当されている子どもについて、指導目標や指導内容を設定するまでのプロセスを肢体不自由特別支援学校の教員が一緒に行います。

①実態把握



- ・自立活動の6区分に沿って子どもの情報を整理

②課題の整理



- ・共通点のある情報をまとめる
- ・中心となる課題を考える

③指導目標の設定



- ・課題の優先順位を付ける
- ・各課題における目指す姿と指導目標を考える

④指導内容の設定



- ・指導内容を考える
- ・支援の手立てを考える

簡単な事前調査票に記入して送ったらスタート！

(本人・保護者のニーズや身体的な情報、得意なことなど)

子どものことについて語り合い

自立活動の悩みや困りごとを一緒に解決しましょう

日 時：7月24日(木) 9:30～11:40
(受付 9:00～)

場 所：香川県立高松支援学校

開催形態：集合研修によるワークショップ(小中学校の教員対象)

申込方法：QRコードを読み取って入力するか、別紙申込表を参照してください。(6月16日締め切り)

問合せ先：香川県立高松支援学校 担当 泉本・山本

TEL：087(865)4500

*申し込み締め切り後、担当者から事前調査票の送付等についてご連絡いたします。





お子様の育ちやからだの使い方、学びについてご相談をお受けします

からだと学びの相談センター

香川県立高松支援学校

こんなことが気になっていませんか？

健康を保つこと

腰が痛い。風邪を引いたらいつまでものどがゴロゴロ...していませんか？

学習すること

しっかりと見たり、手で物を扱ったりすることが難しく、勉強しにくさを感じていませんか？

社会参加すること

移動や活動にいつも援助が必要なのでついつい「人任せ」になっていませんか？

「からだと学びの相談センター」はこんなご相談にお答えできます。

勉強するとすぐに疲れる。読んだり書いたりに時間もかかる。仕方ないのかなあ？

いろいろな補助具や、教材の工夫のアイデアがあります。タブレット端末も便利です。

毎日続けられる運動や、身体ケアの方法が知りたいんですけど...

専門的に指導に取り組んでいる指導者がいます。一人一人に合った方法を考えていきましょう。

からだの障害以外のことも相談できますか？

はい。ご相談内容に応じた情報をお伝えします。

まずは、ご相談ください

香川県立高松支援学校
からだと学びの相談センター
(担当：支援教育部)

TEL 087 (865) 4500
Email taka-s01@kagawa-edu.jp

相談

就学や進路の相談、
教育についてのご相談を
お受けします。

随時行っています。まずは
お電話でご予約ください。

研修

研修会、講演会、学校参観
などを実施します。

研修会やフリー参観（学校
公開）、体験入学会などを
行っています。

お役立ち 資料箱

当センターのホームページ
で分かりやすい資料をダウ
ンロードできます。

研修資料や支援教育だより
などを載せていく予定です。

将来



就学や進学相談

- ・就学や進学に関する相談をしたい。
- ・特別支援学校の教育について知りたい。



体づくり・ 動きづくりの相談

- ・自宅や学校・園でも、体づくりや動きづくりに取り組みたいけど、専門知識がないのでアドバイスがほしい。
- ・トイレや移動など日常の動作が大変。良い方法を知りたい。



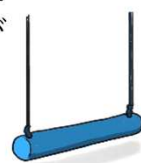
ICTの活用相談

- ・書いたり消したり、本を調べたりする動作が大変なので、勉強にタブレット端末を使いたい。
- ・コミュニケーションに難しさがあるので、何か便利なアプリが使えないだろうか。



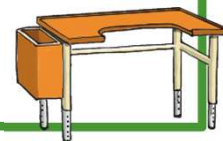
自立活動の相談

- ・自立活動の授業でどんなことに取り組めば良いかアドバイスがほしい。
- ・自立活動で使う教材や教具が知りたい。



学習用具や環境の工夫 授業づくりの相談

- ・鉛筆や教科書などがうまく扱えなくて勉強が進みにくい。学習手段の工夫や配慮が知りたい。
- ・教室の環境、設備の改善について助言してほしい。



個別の指導計画、個別の 教育支援計画の作成相談

- ・指導計画と教育支援計画の違いがよく分からない。
- ・自分なりに作成してみたけど、足りない視点や内容がないか、アドバイスしてもらいたい。

詳しいご案内や申込書は、ホームページに
随時、載せて参りますのでご確認ください。



学校案内図

交通 **ことでんバス**
鹿角線

下り 33 栗林公園・
香川中央高校線

下り 35 ことでん伏石駅・
香川中央高校

高松駅では ⑤番乗り場

高松築港では ②番乗り場

瓦町では ④番乗り場

ことでん伏石駅では ⑫番乗り場

「支援学校」下車 100m

※ことでん太田駅から約 2km

ことでん伏石駅から約 2km

